

令和 4 年 7 月 8 日

## 早期 稲作情報 第3号

J A む な か た  
北筑前普及指導センター

6 月 1 日から 6 月 30 日までの 1 か月の気象は、平年と比べ平均気温は高く、降水量は 75%と少なく、日照時間は 131%と多く経過しました。現在、早期水稲は穂ばらみ期です。葉色はやや淡く、葉は直立しており、生育は良好ですが、水不足の影響で水が入っていないほ場が多くみられます。

今年は高温の影響で生育が早まっており、すでに出穂しているほ場もあります。予想される出穂期は平年より早く、7 月 15 日前後と思われます。

### 1. 水管理

出穂～開花期での水不足は、登熟不良を起こしやすいので、浅水管理を行いましょう。

水が不足する場合でも、計画的配水を行いながら、最低でも黒湿りの状態を保つようにしましょう。用水確保が難しいほ場では、水尻のせき板を高さ 5 cm 程度に設定し、できるだけ雨水をほ場内に留めるようにしましょう。

早期落水は登熟不良・品質低下を招きます。収穫 1 週間前までは間断かん水を続けてください。

### 2. 病害虫防除

#### 【トビイロウンカ】

県内のトビイロウンカの飛来は 6/7 と 6/16 に確認されています。

発生量は、平年よりやや少ない状況ですが、ほ場の発生状況を確認し発生が多い場合 (20 頭/100 株) は防除を行いましょう。

#### 【斑点米カメムシ類】

今年は、カメムシ類の発生量が多いため、注意が必要になります。

出穂直前の畦草刈りは、畦からほ場にカメムシ類が移動する恐れがあるので畦草刈りは早めに行いましょう。

#### 【紋枯病】

近年収穫期に紋枯病が多発しています。今後の気温の予想は高くなる見込みになっており、前年多発したほ場では菌が残っている可能性が高いので注意が必要です。

右上の表を参考に、紋枯病及び斑点米カメムシ対策のため、出穂期前後の防除を徹底しましょう。

## 《出穂期防除》

薬剤名	散布量	防除時期	対象病害虫
ダブルカットバリダ トレボン粉剤3DL	3～4kg/10a	穂揃い期まで	いもち病、紋枯病 カメムシ類、ウンカ類
ダブルカットバリダ フロアブル	1000倍	穂揃い期まで	いもち病、紋枯病
キラップジョーカー フロアブル	1000倍	収穫14日前まで	ウンカ類、カメムシ類 コブノメイガ
ゴウケツモンスター 粒剤	3kg/10a	出穂5日前まで 収穫45日前まで	いもち病、紋枯病 稲こうじ病、ウンカ類 カメムシ類他

## 《穂揃い期防除》

薬剤名	散布量	防除時期	対象病害虫
キラップ粉剤 DL	3～4kg/10a	穂揃い期～乳熟期 (収穫14日前まで)	ウンカ類 カメムシ類
キラップフロアブル	2000倍		
キラップ粒剤	3kg/10a		
スタークル粉剤 DL	3kg/10a	穂揃い期～乳熟期 (収穫7日前まで)	
スタークル液剤 10	1000倍		
スタークル豆つぶ	250g/10a		

※液剤は散布後一旦乾けば降雨にあたってはかけ直しの必要はありませんが、粉剤は散布後殺菌剤で6時間、殺虫剤で3時間以内に降雨があった場合は、かけ直した方が効果は安定します。

※ミツバチへの危害防止のため、スタークル剤（粉剤・液剤）を稲の開花期に散布することは避けてください。

### ★農薬を正しく安全に使用しましょう！！

- ① 散布前に必ずラベルを確認
- ② 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止を徹底
- ③ 水田では止水期間（1週間程度）を遵守
- ④ 散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を洗浄
- ⑤ 防除履歴の正確な記帳

